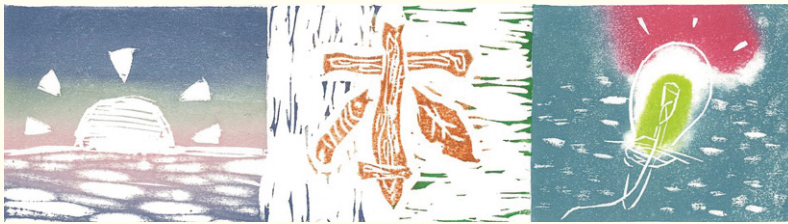




Japanese Studies 日本学専修

日本学と聞いてどんなことをイメージしますか？文学や史学といった他の専修と比べるとイメージがしにくいかもしれません。それは、日本学が学際的な研究や教育を目指す領域だからです。日本学専修は、日本を自明なものとして捉えるのではなく、歴史学、民俗学、人類学、文化研究、ジェンダーセクシュアリティ研究、表象分析といった多様な方法と視点から日本にアプローチします。そして、一国的な研究の枠組みではなく、日本を広く超えて展開される新たな日本研究の可能性を模索しています。そんなスリリングな知的作業に、あなたも加わってみませんか？

<http://japanese-studies.jp/>



教員

うのだ・しょうや
宇野田尚哉 教授
きたむら・つよし
北村 毅 教授
やすおか・けんいち
安岡健一 准教授
なかじま・いずみ
中嶋 泉 准教授
あきやま・かおり
秋山かおり 助教

何を学んでいるの？

日本学演習

論文の読み方や書き方、文献調査・インタビュー・プレゼンテーションの仕方など、基本的なアカデミックスキルを学びます。

比較文化学演習

近現代日本の社会・文化について、ビジュアルを含む史資料をジェンダーなど多様な視点から読み解く力を養い、議論する演習です。

どんな授業があるの？

[講義題目]

戦後日本社会の歴史
フェミニズムの理論と現代視覚文化

[演習題目]

ケアの現場のフィールドワーク
地域におけるオーラルヒストリー
視覚文化とジェンダー
含翠堂と懐徳堂

教員が選ぶ印象に残った卒業論文

安丸民衆史形成の史的文脈

——丸山思想史学の批判的受容に注目して

日本の歴史学に民衆思想史という潮流をうちたてた歴史学者・安丸良夫（1934-2016）。その代表作「日本の近代化と民衆思想」にいたる学問の形成史を、丸山真男の政治学の批判的受容に注目して研究したもの。当時の文献を丹念にたどり、「思想の科学研究会」とのつながりなど重要な点を論じた。（選：宇野田尚哉 教授）

[卒業論文題目]

現代修験道講員の信仰実践と生活への応用
コロナ禍が変えた教員の意識に関する研究
少女小説を通して生まれる少女の居場所
「妖婦阿部定」はいかに描きなおされたか

座談会形式で3名の学生に話を聞きました。

[協力] 尾島雛々さん (3年)、久保はるなさん (4年)、山内聡太さん (4年)

専修選択のきっかけ

研究テーマの選択肢が広がったから。もしも、途中でテーマが変わっても教員が受け入れてくれる懐の広さがあった。例えば、教員の専門ではない「妖怪学」をやりたいと言ったら対応してくれた。

専修の授業について

研究の方法やレポートの書き方、発表の方法を教えてもらえる。2年生の時に授業で教わった引用の方法やフォーマットは卒業論文を書いている現在でも使っているし、役に立っている。

研究室の雰囲気はどうか

とても訪ねやすく、過ごしやすい。特に、2年生の時から研究室に来ることができるので、卒論の中間発表などを院生が助けてくれることが多々あった。

日本学専修の魅力は

いろんな研究テーマに取り組んでいる人たち、また「人間」に興味を持っている人が集う研究室だから、そこにいる「人」にも関心を持ってくれる。教員も学生のやりたいテーマに歩みよってくれる。一緒にそのテーマに詳しくなってくれるから心強い。

先輩へのメッセージ

研究室を訪ねることは「メリット」しかない。みんなでお話しましょう。コロナ禍で大学に来られない時期があったのに、それでも友人ができて、一緒にいろんなところに行けたのは、この研究室だからこそ。何のテーマに取り組むのか決まっていな人は、まず研究室を訪ねてください。

沖縄スタディーツアーの企画と運営に関わりました。

2024年に豊中市と沖縄市は兄弟都市提携50周年を記念して数々の関連イベントを開催しました。なかでも、平和学習プロジェクト・沖縄スタディーツアーの企画と運営に日本学専修3年生の碓井結子さんと大学院生の石川勇人さんが関わりました。碓井さん・石川さんはチューター役として、このツアーに応募した豊中市の高校生8人と沖縄市を訪ねました。

両市の高校生はひめゆり平和祈念資料館などの沖縄の戦跡をめぐるフィールドワークや、事前学習の成

果を報告する平和交流、グループワークなどを含む2泊3日の行程を終えました。最終日には、沖縄市職員と、沖縄市の高校生数名が空港まで見送りに出向いてくれたそうです。

今回が初めての沖縄訪問となった碓井さんにスタディーツアーの感想を聞きました。高校教育における平和学習で多少は知識を得ていたと思っても、実際に沖縄を訪れて、大学生になって研究という視点を持って別のものが見えたことや、沖縄戦について調べていく必要性やそ

の学びを継続する大切さを発見した、と話してくれました。

活動紹介



豊中市・沖縄市兄弟都市提携50周年記念事業ロゴマーク



[1日目] 那覇空港に到着後、ひめゆり平和祈念資料館へ



[2日目] 高校生交流のグループワークに使われたメモ。フィールドワークで考えた意見を書き出し、各グループで発表後にまとめる際に貼りだされた。(写真提供 豊中市人権平和センター)